

指導と評価の年間計画(家庭)〈例〉

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

科 目	家庭基礎	学 年	1	指導クラス	〇年〇組	指導者名	
単 位 数	2	使用教科書		副教材・問題集等			

1. 科目の目標

<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
--

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3. 指導及び評価計画

月	単 元	指 導 項 目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション	家庭基礎の学び方	1	・家庭基礎を学ぶ目的や授業の概要について理解する。	ワークシート	○		
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法等について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する手法を理解する。	ワークシート 行動観察 ホームプロジェクトは長期休業等に実施する。	○	○	
	人の一生と家族・家庭及び福祉 (1)生涯の生活設計	①ライフステージと発達課題 ②意思決定と生活資源 ③ライフスタイルの選択	4	・生涯発達の視点に立ち、ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・自立した生活を営むために、生涯を見通しながら、意思決定を行う重要性を理解する。 ・ライフスタイルの実現のために、職業選択やワーク・ライフ・バランスの具体的な事例を取り上げ考察し生活設計を工夫する。	ワークシート 行動観察	○	○	○
5	(2)青年期の自立と家族・家庭	①青年期の発達課題 ②青年期と自立 ③家族、家族構成の変化 ④家族の機能と労働 ⑤家族・家庭の法律 ⑥家族・家庭と社会	4	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解する。 ・生涯を見通した中で、青年期をどのように生きるかについて理解を深める。 ・現代の家族・家庭の課題を経済や制度などの社会環境の変化と関連付けて理解する。 ・仕事と家庭の両立について考える。 ・家族と法律、社会制度について理解する。 ・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くとともに、家族や地域におけるよりよい生活について創造し、家族生活と地域の関係について考える。	ワークシート 行動観察	○	○	○
	(3)子供の生活と保育	①乳幼児期の心身の発達 ②乳幼児期の生活と遊び、健康と安全 ③親の役割と保育	8	・身体の発育や運動機能、言語、認知、情緒、社会性などの発達の概要とその関連性を理解する。 ・遊びが子供の生活において重要であることを理解するとともに、基本的な生活習慣の形成や健康管理と安全への配慮などについて理解する。 ・親や家族の関わり方や家庭生活が果たす役割の重要性について理解する。発達段階に応じた	ワークシート 行動観察 実習 作品課題	○	○	○
6						○	○	

1	持続可能な消費生活・環境 (1)生活における経済の計画	①家計の構造と社会 ②家計管理 ③生活における経済管理と計画性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・可処分所得や非消費支出の分析などを具体的な事例を通して、家計の構造を理解するとともに、家庭経済と国民経済との関わりなど経済循環における家計の位置付けとその役割の重要性について理解できる。 ・収支バランスやリスク管理も踏まえた家計管理について理解できる。教育資金、住宅取得、老後の備えの他にも、事故や病気、失業などリスクへの対応が必要であることを理解するとともに、預貯金、民間保険、株式、債券、投資信託等の基本的な金融商品の特徴、資産形成のことについても理解する。 ・各ライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などと関連付けながら経済管理について考えることができる。また、将来の不可避的なリスクや、年金生活へのリスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な事例を通して考察できる。 	ワークシート 行動観察	○	○	
2	(2)消費行動と意思決定	①消費者の権利と責任 ②消費生活の現状と課題 ③消費行動における意思決定 ④契約の重要性 ⑤消費者保護の仕組み	4	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者基本法等を取り上げ、その概要や趣旨を理解する。生産者や事業者等適切な意思決定に基づいて行動するとともに環境や社会への影響を考えて行動する責任について理解する。 ・グローバル化、情報化などの社会変化や、それに伴う販売や流通の多様化、消費者と事業者の情報量の格差など、消費者問題発生の社会的背景について理解する。 ・消費行動における意思決定の重要性について具体的な事例を通して理解できる。 ・売買契約、雇用契約、消費者貸借契約、賃貸契約等について扱いながら、義務と権利について考えることができる。インターネットを介した通信販売、マルチ商法・デパート商法などの具体的な事例を取り上げ、多様な販売方法・商法について理解できるようにするとともに、消費者信用による多重債務問題などの問題点について理解する。 ・消費者被害の防止や救済、国民生活センターや各自治体における消費生活センターの役割や機能について理解する。消費者契約法など基本的な法規や安全で豊かな消費生活を送るための制度について理解する。 	ワークシート 行動観察	○	○	
	(3)持続可能なライフスタイルと環境	①生活と環境との関わり ②持続可能な消費	2	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解する。環境配慮型製品の開発やグリーン購入の推進など、地域や企業、行政、国際的な取組など社会全体が一体となった取組についても興味関心をも、環境保全のために、消費者一人一人の生活意識やライフスタイルを見つめ、見直すことも必要であることに気付く。 ・持続可能な社会を目指した国際的な取組について重要性を理解する。環境負荷を低減するために、国際標準化機構による品質管理や環境管理などに関するマネジメントシステムについても取り上げ、持続可能な社会の構築に向けた企業の取組などについて理解する。 	ワークシート 行動観察	○	○	○
	人の一生と家族・家庭及び福祉 (1)生涯の生活設計	④これからの生活を創造する。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を振り返りながら課題を一つ設定し、各ライフステージの目標を挙げて、その実現に必要な条件を考えることができる。 ・生活設計について、学習した内容を踏まえて見直したり、就きたい職業について調査をしたりするなど具体的に短期・長期の計画を立てることができる。 	ワークシート 課題	○	○	○
3		1年間のまとめ			定期考査	○	○	
			70					

